

事務事業評価（事前評価）実施結果

1 実施時期と実施内容

事務事業評価（事前評価）の実施時期と実施内容は以下のとおりである。

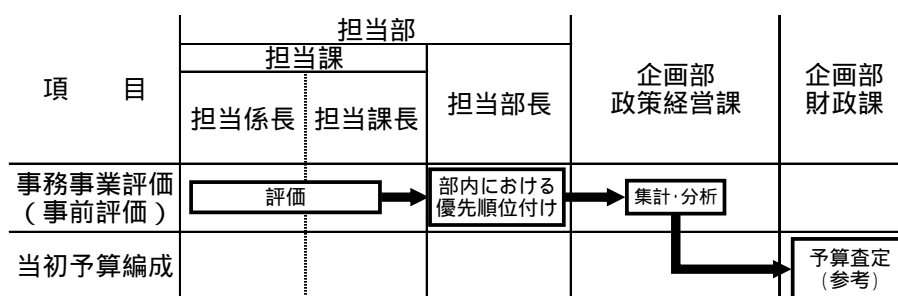
図表 1：【実施時期と実施内容】

実施時期	実施内容	
10月25日(水)	評価表記入説明会	評価表の配付（企画部財政課主催の平成19年度当初予算説明会と併せて実施）
11月20日(月)	評価表提出締切り	全ての評価表を回収
12月20日(水)	市長決裁	
12月20日(水)	事前評価の結果を企画部財政課に送付	企画部財政課において平成19年度当初予算編成の参考資料として活用

2 実施手順と評価方法

図表 2-1 のとおり、平成 19 年度を初年度として新たに予算要求する事業について、担当課において、事業の「妥当性」「効率性」「有効性」「貢献度」といった視点(図表 2-2 参照)に基づき、事務事業評価（事前評価）を行った。その後、各視点からの評価を踏まえた上で、担当部長が部内における優先順位付けを行った。その結果を評価表と合わせて企画部財政課に送付し、財政課において平成 19 年度当初予算編成の参考資料として活用した。

図表 2-1：【事務事業評価（事前評価）の実施手順】



図表 2-2：【評価の視点と質問項目】

視点	内容
妥当性	市民ニーズは高いか？
	特定の個人や団体に受益が偏っていないか？
	市が行う必要があるか？
効率性	他に代替的手段を検討したか？
	受益者負担は適正か？
有効性	事業の成果は十分に期待できるか？
	計画段階から市民の意見を十分に取り入れているか？
貢献度	同じ目的を持つ他の事業はあるか？
	上位施策への貢献度は高いか？

3 評価事業数

事務事業評価（事前評価）実施事業数は、100事業であった(図表3参照)。

図表3：【年度別評価事業数】

年度	評価事業数
平成15年度	69事業
平成16年度	62事業
平成17年度	64事業
平成18年度	100事業

4 評価結果

各視点からの個別評価を踏まえ、部内における優先順位付けを行い、予算編成を行った結果、図表4のような結果になった。

部内における優先順位が上位3位以内の事業の予算措置率は、34事業中28事業で82.3%、4位以下の事業は、66事業中41事業で62.1%であった。

これらの結果からも明らかなように、部内における優先順位が高い事業から優先的に予算措置がなされたと考えられる。

図表4：【事業の優先順位と予算編成結果】

優先順位	対象事業数...(1)	予算措置事業数等...(2)	予算措置率...(2)/(1)×100
1位～3位	34事業	28事業	82.3%
4位以下	66事業	41事業	62.1%
計	100事業	69事業	69.0%